

経営比較分析表（平成30年度決算）

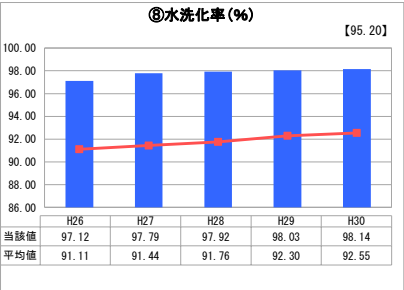
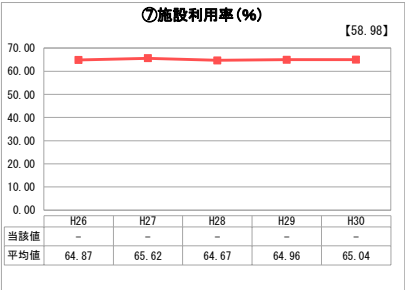
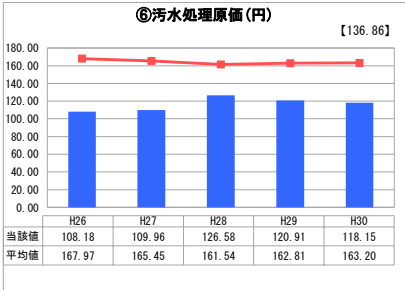
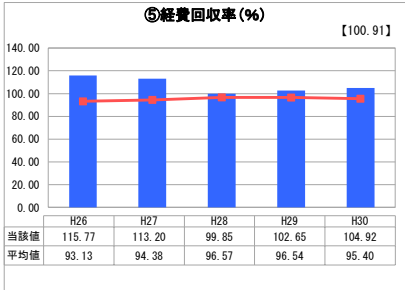
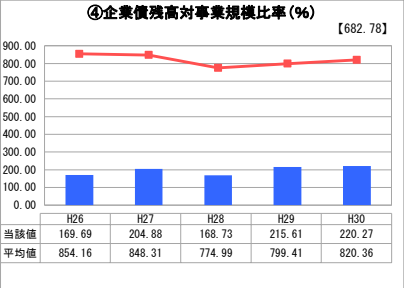
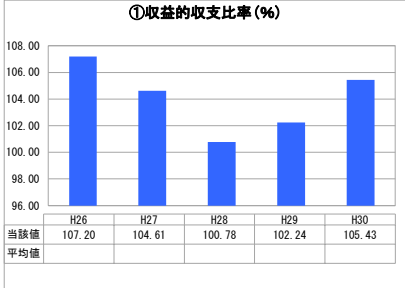
東京都 瑞穂町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	97.82	93.43	1,571

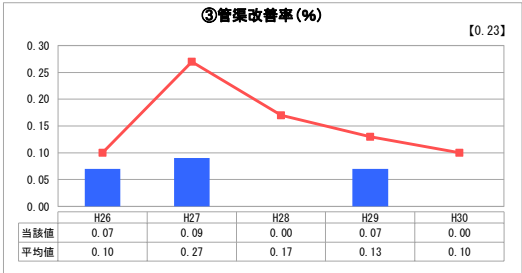
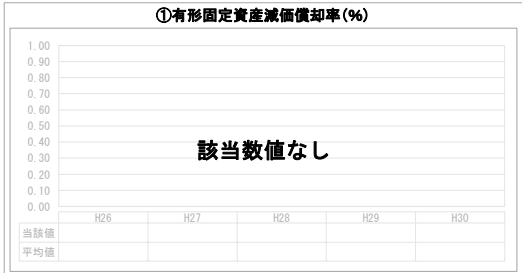
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,213	16.85	1,971.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,312	7.88	4,100.51

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率について、黒字を示す100%以上を維持しており、前年度と比較しても改善している。改善の要因は、他会計繰入金が増加したことである。今後、使用料の大幅な増加が見込めない中で、施設更新等の費用増加が見込まれるため、計画的かつ効率的な維持管理を行う。

④企業債残高対事業規模比率について、企業債に依存しすぎることではなく、類似団体平均値、全国平均と比較して低い状況である。一方で、今後、市街化調整区域の污水管渠整備や雨水幹線整備等の財源として企業債を予定しており、企業債残高は増加する見込みである。

⑤経費回収率について、類似団体平均値、全国平均と比較して高い状況である。しかし、今後は施設更新等の費用増加が見込まれるため、計画的な維持管理を行うとともに、比率が著しく悪化する場合は、料金の適正化について検討する。

⑥汚水処理原価について、類似団体平均値、全国平均と比較して効率的な汚水処理が実施されている。更なる有収水量の増加に努めるとともに、費用の平準化を図り計画的に維持管理を行う。

⑧水洗化率について、類似団体平均値、全国平均を上回った状況であるが、引き続き接続率の向上に努め、水洗化率100%を目指す。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率について、平成30年は管渠の更新等が行わなかった。過去のデータと比較しても類似団体平均、全国平均よりも改善率が低い状況である。しかし、耐震性については、管渠の耐震化は重要な幹線の耐震診断を実施しており、その結果に基づく耐震性能を有していない管渠については、更生工事により対策済みである。また、令和元年度にストックマネジメント実施方針を策定し、今後計画的に管渠改善を図っていく。

全体総括

経営の健全性・効率性について、類似団体平均値、全国平均と比較して概ね健全で効率的な経営を行っているが、指標によっては注視すべきものもあり、使用料の大幅な増加が見込めない中で、施設更新等の維持管理事業に加え建設改良事業も予定されており、更なる経費削減と財源確保に努め、健全経営を維持していく。
令和2年度の法適化に向けて事業を進めており、法適化後はストック情報や損益情報の的確な把握により、財務状況を明確にして適切な更新計画や経営計画に基づき、経営の効率化、行政サービスの向上を図り、持続性のある下水道経営を行う。また、将来にわたってもサービスの提供を安定的に継続することが可能となるように、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を盛り込んだ、下水道プランの改定を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。